



### つよつよ 「記念式典」

平成十八年八月。旧三号館・四号館の解体が行われました。私が立ち会った時、南側の壁面はすでになくなり、重機のアームは三号館四階の音楽室辺りを噛み砕いていました。三号館は私が入学した昭和四十二年（一九六七年）に完成した校舎です。私は三号館を最初に使った学年でした。そしてその年の十一月に「創立八十周年記念式典」が三号館の落成祝いと共に挙行されました。

あれから四十年の歳月が流れました。当時、新校舎として学んだ私が、その三号館の解体に立会い、そして「新校舎」の建設を担い、その落成と創立百二十周年の記念式典の準備をする立場にあることを不思議に思いつつ何か運命的なものを感じています。そしてその「落成・創立記念式典」まであとわずかになりました。

### ■「不動岡」の凄さ

校舎の建設に携わり、また記念式典の準備をするなかで「不動岡

の凄さ」を実感しています。

まずは校舎を全面改築してしまふ凄さがあります。現在の財政事情のなかで、よくこれだけの校舎を造ることに理解を示してくれたいと心から感心しています。これは長年建築に関わった者の偽らざる気持ちです。そして何よりも「凄さ」を実感したのは記念事業への募金の集まり具合です。目標とした五千万円に対して八月の末現在で約四千五百万円が振り込まれてきています。もしかしたら式典までに目標額は達成できるのではないかとという期待がもたれます。私はいかという期待がもたれます。私はいかという期待がもたれます。私はいかという期待がもたれます。

「不動岡のもつ魅力であり凄さ」なのだと思えます。この期待に背かない式典にしようと思えます。【記念行事実施委員長 長島 巖（第八十二回卒）】

### 「直感力を育む」 会長 立岡 勝之

「論語」に、「道に志し、徳に抛り、仁に抛り、芸に遊ぶ」という一節があります。「人は、人道に志し、徳によって社会に対処し、思いやりの心をもって行動し、六芸で人間としての余裕を身につける必要がある。」と解釈できます。人は課題に対処する時に、データを積み重ね、論理的に分析し、解決の方向性を見出そうとします。しかし、時にはそれよりも、一瞬の「ひらめき」や「直感」が解決の大きな糸口となることがあります。世界のリーダーにはその「直感力」と「直感の概念化と実現力」に優れた人間が多いようです。では、その「直感力」はいかにして育まれたのでしょうか。それは、努力とともに「芸に遊ぶ」余裕によるのではないかと考えら

れます。日々の生活や仕事には、実利や自己研鑽に直結するものばかりはありません。逆に、それに結びつかないと思われることの方がはるかに多くあります。しかし、志を失わず、道に抛り、心の豊かさをもって、努力し続けながら、時には、無駄と思われることにも時間を割く余裕が、人間としての総合力を高めると同時に、「直感力」を育むのではないのでしょうか。私たちはどうしても目先に拘りすぎます。しかし、必要な「直感力」を養うために、「芸に遊ぶ」余裕と無駄を厭わない意志の強さをもって努力したいと思えます。高校生の皆さんにも、品格あるリーダーを目指し、伝統を力に総合的な人間力を養い、文武芸三道に精進してもらいたいと思えます。

### 創立百二十周年事業が 不動岡の更なる飛躍の契機に

#### 校長 長 澤 智 則

樹々の紅葉も日ごとに深まっています。学友会の皆様には、物心両面にわたる暖かいご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

いよいよひと月後の十一月十一日（土）に新校舎落成並びに創立百二十周年式典を挙行政致します。過日六月三十日に第五回の記念事業協賛会が開かれ、記念事業全般

の進捗状況の報告と協議、「記念式典実行委員会」の立ち上げ等のご了承を頂き、七月一日のPTTA・後援会理事会で「記念式典会実行委員会」が正式に設置されました。委員長には立岡学友会長、副会長には船川PTTA会長、川島後援会長にお引き受け頂きました。今後は周年行事を成功させるため、学校とPTTA・後援会が一丸となって取り組んでまいります。

さて、工事関係では旧三・四号館の解体工事も終わり、跡地はサッカー・ラグビーグラウンドとして整備されます。また、記念館一階の食堂のリニューアル工事も終わり、明るく快適な空間ができました。中庭には、歴史を刻んだ旧校舎正面の校章と旧校舎の壁面の一部とで創られた「新校舎落成並びに創立百二十周年記念碑」も第一一七回生の卒業記念として設置されました。更には第一一八回生の卒業記念樹として、楷の木（学問の木）も植樹され、新しい不動岡高校を見守っております。

器はできました。ここに魂を入れるのも、命を吹き込むのも教職員であり、ここで学ぶ生徒自身の努力です。創立百二十年、先人の不動岡への思いを大切にしながら、不動岡高校は更なる進化を続けてまいります。学友の皆様におかれましては、一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成18年度 学友会慶祝者一覽 (敬称略)

平成18年8月10日

86	86	85	79	86	84	84	84	81	81	79	93	羽19	78	108	89	80	68	63	66	65	65	65	64	56	
栗田	増田	萩原	井沢	武井	駒井	平澤	内田	美細津恵一郎	伊古田陽子	堀口	永沼	河田	大橋	塩崎	宮地	平社	白石	掘越	蓮見	細村	金子	富田	加藤	田中	
昭一	利之	常夫	貢	尚夫	勝	香	洋一	一郎	子	茂	正人	晃明	良一	秀弥	弘幸	定夫	昌夫	弘毅	武男	迪夫	弘	正雄	一司	晃三	
幸手行幸小校長	加須市礼羽小校長	上尾市原中校長	さいたま市立島小校長	白岡中校長	宮代前原中校長	葛蒲中校長	蓮田中校長	越生高校校長	越谷西養護高校校長	三郷北高校校長	県会議員に当選	羽生市長に当選	加須市長に当選	H18/2/15東京歯科大学院 歯学博士号取得	東大分子細胞生物学研究所 東大助教	1996年東大より学位授与	H18/3信州大学より理学博士号取得	岩槻高校勤務	元空自航空支援集団司令部総務部長	「日本学士員賞」受賞	海洋研究開発機構極限環境生物圏研究センター長	和光大学学長に就任	H18/3信州大学より理学博士号取得	元東京都議	(昨秋の叙勳) 旭日中級章

## 現在の不動岡高校

### 姉妹校訪問で国際交流深める

去る七月二十八日から八月十日までの二週間の日程でオーストラリアアクイーンズランド州のキングガロイ高校を二十七名の生徒が訪ね、たくさん交流プログラムやホームステイを通じて友情を深めることができました。

今年度はさらに、八月十八日から二十五日の八日間の日程で、十八名の生徒が中国内蒙古のフフホト中学を訪ね、同じように有意義な交流の機会を持つことができました。十一月にはフフホト中学の生徒が本校を訪れる予定になっています。

### 主な部活動成績(四月～八月)

- 新聞部  
新聞部は八月に京都で開催された全国総合文化祭に三年連続県代表として出場しました。
- 陸上部  
三年生の宮内綾香さんが棒高飛びで日本陸上選手権大会に出場する荣誉に輝きました。兵庫国体にも出場が決まっています。
- 山岳部  
二年生の門間希美さんが山岳クライミングの部で国体に関東代表として出場が決まっています。
- 全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト(対話部門)  
三年生の遠藤陸美さんと関口彩さんが出場し、準優勝に輝きました。
- 全国高校生英語弁論大会  
三年生の遠藤忍君が県・関東予選会を突破し、長野で開催された全国大会に出場しました。

教頭 若林正人

オーストラリア研修



中国研修



### 9月8日現在の寄付

学友会	2,829人	39,179,620円
PTA関係	485人	3,945,000円
その他	185人	3,203,019円
合計	3,499人	46,327,639円

9月8日現在の名簿申し込み 3,654人

詳しくは本校ホームページ <http://www.fudooka-h.spec.ed.jp/> をご覧ください。

## 120周年記念事業の寄付金と名簿の進捗状況

### 同窓会情報

- 93回卒同窓会 8月12日(土) 本校記念館(実施済)
- 92回卒同窓会 9月30日(土) 本校記念館
- 91回卒同窓会 10月1日(日) 本校見学後
- 65回卒同窓会 10月1日(日) 本校見学後
- 60・61回卒同窓会 10月15日(日) 本校記念館
- 67回卒同窓会 10月22日(日) 本校見学後
- 81回卒同窓会 平成19年5月13日(日) 本校記念館

### 学友の集いに参加ください

恒例の学友の集いを左記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わりつつある母校を、ご自身の目でご覧いただき、旧交を暖めて頂ければ幸いです。お誘い合せのうえぜひご参加ください。

平成18年10月8日(日)  
午前10時より

会場 埼玉県立不動岡高等学校  
不動岡ホール